

令和4年2月16日

「名寄市観光振興計画(第2次)(素案)」に対するパブリック・コメント手続の実施結果について

「名寄市観光振興計画(第2次)(素案)」に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見について検討した結果、「名寄市観光振興計画(第2次)(素案)」を次のとおり修正して策定することとしました。

1. パブリック・コメント手続の実施結果

案件名	名寄市観光振興計画(第2次)(素案)について
意見等の募集期間	令和4年1月11日(火)～令和4年2月11日(金)
案の公表方法	1 実施機関が指定する場所での閲覧又は配布 2 市ホームページへの掲載 3 名寄新聞、北都新聞への掲載及びFM放送
意見等の提出方法	「意見提出用紙」により実施機関窓口持参・郵送・ファックス・電子メール
結果の公表方法	指定閲覧場所、市ホームページ、市広報
意見等の提出者数・提出件数	提出者 2人 提出件数 8件 【内訳】 書面提出:5件、郵便:0件、FAX:0件、電子メール:3件
意見等の処理	案の修正箇所:別紙のとおり

2. 意見の概要と市の考え方について

市民等の意見の概要	件数	意見に対する名寄市の考え方
・様々な日本一が掲載されているが、「なよろ市立天文台きたすばる」は、光害がほとんどない環境での公開天文台としては日本一の望遠鏡を有している。また複数の観光スポットに関するアンケート調査において、「きたすばる」が上位にランクインされている。これらのことから、「きたすばる」を計画内に位置付けるべきと考える。	5	・市立天文台「きたすばる」は、日本トップクラスの星空観望ができる天文台であり、各調査結果においても、市民・観光客から期待される観光スポットであることから、計画に具体的に追記いたします。 具体的な活用については、いただいたご意見を参考とさせていただき、今後組織する市民検証委員会の中で検討してまいります。
・名寄の持っているポテンシャルと、観光の今後の動向を見据えて、限られた財源とマンパワーで何を指すのかを焦点を絞って展開すべき。また、財源や人材が見通せず、観光の鉄則、「貴方だけ、ここだけ、いまだけ、」のインパクトが希薄。さらに、観光の目的は市内経済に寄与するとあるが、何のために、何処に向かっての視点がなければここ10年の活動と変わらない。	1	・名寄市の観光は、地域経済の循環によるまちのにぎわいと活性化を図り、まちに対する市民の愛着や満足度をより高め、魅力あるまちとしていくことが重要と考えており、名寄市観光振興計画(第1次)の推進を通して見えた課題取り組むとともに、①アウトドア観光、②スポーツツーリズム、③人材の発掘・育成の3点を重点項目を定め、地域経済の活性化に努めます。 具体的な手法については、今後組織する市民検証委員会の中で検討してまいります。

<p>・サイクルツーリズムを推進している観光地では、自転車優先レーンの整備等、観光客が安心してサイクリングができる環境が整っているが、今後名寄市がサイクルツーリズムを推進していくためには、市民や地域を挙げての取り組みが必要と考える。</p>	<p>1</p>	<p>・本計画において、サイクルツーリズムを含むスポーツツーリズムの推進を重点項目としており、市民や地域への普及活動が重要だと考えております。</p> <p>いただいた意見を参考に、具体的な手法については今後組織する市民検証委員会の中で検討してまいります。</p>
<p>・様々なアクティビティの指導者を確保するため、居住空間への支援など、移住させる仕組みも必要だと考える。</p>	<p>1</p>	<p>・アクティビティの指導者(ガイド)を含めて観光振興に携わる人材が不足していると認識しており、観光振興に資する人材の発掘・育成を重点項目と定めております。</p> <p>今後、移住対策も含め、具体的な手法については、今後組織する市民検証委員会の中で検討してまいります。</p>

[問合せ先]

担当課:経済部産業振興室産業振興課

電話:01654③2111(内線3349)